



2020年6月23日

各位

会社名 株式会社ウィルグループ
 代表者名 代表取締役会長 池田良介
 (コード番号: 6089)
 問合せ先 執行役員 高山智史
 管理本部長
 (TEL. 03-6859-8880)

〔訂正・数値データ訂正〕「2020年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2020年5月12日に公表しました「2020年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の記載内容に一部訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2020年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」の発表後、有価証券報告書の作成過程におきまして、提出済みの決算短信の一部に、算定方法の齟齬があることが発覚し、訂正事項が生じたので、提出済みの決算短信を訂正します。

2. 訂正箇所

訂正箇所は、訂正前及び訂正後をそれぞれ表示し、訂正の箇所には、下線 を付して表示しています。

【サマリー情報】

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(訂正前)

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	107.07	<u>104.69</u>	50.5	9.1	3.4
2019年3月期	69.46	67.59	<u>40.9</u>	6.6	2.9

(訂正後)

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	107.07	<u>104.75</u>	50.5	9.1	3.4
2019年3月期	69.46	67.59	<u>27.4</u>	6.6	2.9

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,997	△3,035	△2,720	5,944
2019年3月期	<u>2,803</u>	<u>△5,634</u>	564	6,862

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,997	△3,035	△2,720	5,944
2019年3月期	<u>2,807</u>	<u>△5,635</u>	564	6,862

2. 配当の状況

(訂正前)

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	400	25.9	10.8
2020年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00	511	21.5	9.7
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	14.00	14.00		31.1	

(訂正後)

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	400	25.9	7.1
2020年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00	511	21.5	10.8
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	14.00	14.00		31.1	

【添付資料P4】

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(訂正前)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ917百万円減少し、5,944百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,997百万円の収入（前連結会計年度は2,803百万円の収入）となりました。これは主に、法人所得税の支払額1,478百万円があった一方、税引前利益の計上4,057百万円、減価償却費及び償却費1,990百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,035百万円の支出（前連結会計年度は5,634百万円の支出）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,064百万円、有形固定資産及び無形資産の取得による支出557百万円、投資有価証券の取得による支出312百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,720百万円の支出（前連結会計年度は564百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,253百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入977百万円等があった一方、長期借入金の返済による支出3,729百万円、短期借入金の純減額1,413百万円、リース債務の返済による支出1,223百万円等があったことによるものです。

(訂正後)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ917百万円減少し、5,944百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,997百万円の収入（前連結会計年度は2,807百万円の収入）となりました。これは主に、法人所得税の支払額1,478百万円があった一方、税引前利益の計上4,057百万円、減価償却費及び償却費1,990百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,035百万円の支出（前連結会計年度は5,635百万円の支出）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,064百万円、有形固定資産及び無形資産の取得による支出557百万円、投資有価証券の取得による支出312百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,720百万円の支出（前連結会計年度は564百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,253百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入977百万円等があった一方、長期借入金の返済による支出3,729百万円、短期借入金の純減額1,413百万円、リース債務の返済による支出1,223百万円等があったことによるものです。

【添付資料P9】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上収益	103,300	121,916
売上原価	82,995	96,513
売上総利益	20,305	25,402
販売費及び一般管理費	17,406	21,422
その他収益	127	220
その他費用	67	56
営業利益	2,957	4,145
金融収益	29	42
金融費用	110	131
税引前利益	2,876	4,057
法人所得税費用	1,142	1,344
当期利益	1,734	2,712
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,539	2,380
非支配持分	195	331
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	69.46	107.07
希薄化後1株当たり当期利益(円)	67.59	<u>104.69</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上収益	103,300	121,916
売上原価	82,995	96,513
売上総利益	20,305	25,402
販売費及び一般管理費	17,406	21,422
その他収益	127	220
その他費用	67	56
営業利益	2,957	4,145
金融収益	29	42
金融費用	110	131
税引前利益	2,876	4,057
法人所得税費用	1,142	1,344
当期利益	1,734	2,712
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,539	2,380
非支配持分	195	331
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	69.46	107.07
希薄化後1株当たり当期利益(円)	67.59	<u>104.75</u>

【添付資料P12】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	2,876	4,057
減価償却費及び償却費	1,580	1,990
株式報酬費用	282	204
営業債権の増減額 (△は増加)	△1,613	△292
営業債務の増減額 (△は減少)	973	1,011
営業活動その他	△62	△393
小計	4,038	6,578
利息及び配当金の受取額	4	10
利息の支払額	△97	△114
法人所得税の支払額	△1,142	△1,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>2,803</u>	4,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△770	△557
投資有価証券の取得による支出	△644	△312
投資有価証券の売却による収入	77	7
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,267	△2,064
投資活動その他	△29	△108
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△5,634</u>	△3,035
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△1,778	△1,413
長期借入れによる収入	8,518	3,253
長期借入金の返済による支出	△1,701	△3,729
リース負債の返済による支出	△1,084	△1,223
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3,206	△246
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	977
非支配持分への配当金の支払額	△119	△181
配当金の支払額	△397	△400
財務活動その他	334	244
財務活動によるキャッシュ・フロー	564	△2,720
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	<u>△30</u>	△159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,297	△917
現金及び現金同等物の期首残高	9,159	6,862
現金及び現金同等物の期末残高	6,862	5,944

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	2,876	4,057
減価償却費及び償却費	1,580	1,990
株式報酬費用	282	204
営業債権の増減額 (△は増加)	△1,613	△292
営業債務の増減額 (△は減少)	973	1,011
営業活動その他	△62	△393
小計	4,038	6,578
利息及び配当金の受取額	4	10
利息の支払額	△97	△114
法人所得税の支払額	△1,142	△1,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>2,807</u>	4,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△770	△557
投資有価証券の取得による支出	△644	△312
投資有価証券の売却による収入	77	7
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,267	△2,064
投資活動その他	△29	△108
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△5,635</u>	△3,035
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△1,778	△1,413
長期借入れによる収入	8,518	3,253
長期借入金の返済による支出	△1,701	△3,729
リース負債の返済による支出	△1,084	△1,223
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3,206	△246
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	977
非支配持分への配当金の支払額	△119	△181
配当金の支払額	△397	△400
財務活動その他	334	244
財務活動によるキャッシュ・フロー	564	△2,720
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	<u>△34</u>	△159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,297	△917
現金及び現金同等物の期首残高	9,159	6,862
現金及び現金同等物の期末残高	6,862	5,944

【添付資料P14】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記

(セグメント情報等)

(2) 報告セグメント情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他	調整額 (注2～ 4)	IFRS調整 (注5)	連結 財務諸表 計上額
	セールス アウト ソーシング 事業	コール センター アウト ソーシング 事業	ファク トリー アウト ソーシング 事業	介護 ビジネス 支援事業	海外HR 事業	スタート アップ 人材支援 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	22,207	15,724	20,885	9,310	26,275	1,049	95,451	8,151	—	△302	103,300
セグメント間 の内部売上高 (注1)	1	0	0	—	—	—	1	19	△20	—	—
計	22,208	15,724	20,885	9,310	26,275	1,049	95,453	8,170	△20	△302	103,300
営業利益	1,537	833	1,038	182	425	269	4,287	143	△1,886	413	2,957
その他の項目											
減価償却費及 び償却費	32	12	17	20	127	4	214	118	112	1,134	1,580
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	14	—	18	32
資本的支出	107	38	55	22	95	9	329	1,341	472	—	2,143
セグメント資産	5,480	2,911	4,147	1,723	11,796	578	26,638	7,241	1,463	8,054	43,398

(注1) セグメント間の内部売上高は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) 営業利益の調整額△1,886百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,893百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

(注3) セグメント資産の調整額1,463百万円は、主に事業セグメントに帰属しない全社資産であり、当社保有の資産です。

(注4) 減価償却費及び償却費の調整額112百万円は、各事業セグメントに配分していない全社の減価償却費です。

(注5) 営業利益のIFRS調整413百万円には、のれん償却費の戻入、未払有給休暇に係る費用計上等が含まれています。セグメント資産のIFRS調整8,054百万円には、使用権資産の計上、のれん償却費の戻入等が含まれています。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他	調整額 (注2～4)	IFRS調整 (注5)	連結 財務諸表 計上額
	セールス アウト ソーシング 事業	コール センター アウト ソーシング 事業	ファク トリー アウト ソーシング 事業	介護 ビジネス 支援事業	海外HR 事業	スタート アップ 人材支援 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	22,207	15,724	20,885	9,310	26,275	1,049	95,451	8,151	—	△302	103,300
セグメント間 の内部売上高 (注1)	1	0	0	—	—	—	1	19	△20	—	—
計	22,208	15,724	20,885	9,310	26,275	1,049	95,453	8,170	△20	△302	103,300
営業利益	1,537	833	1,038	182	425	269	4,287	143	△1,886	413	2,957
その他の項目											
減価償却費及 び償却費	32	12	17	20	127	4	214	118	112	1,134	1,580
減損損失	—	—	—	—	32	—	32	—	—	—	32
資本的支出	107	38	55	22	3,235	9	3,469	2,914	472	942	7,798
セグメント資産	5,480	2,911	4,147	1,723	11,796	578	26,638	7,241	1,463	8,054	43,398

(注1) セグメント間の内部売上高は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) 営業利益の調整額△1,886百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,893百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

(注3) セグメント資産の調整額1,463百万円は、主に事業セグメントに帰属しない全社資産であり、当社保有の資産です。

(注4) 減価償却費及び償却費の調整額112百万円は、各事業セグメントに配分していない全社の減価償却費です。

(注5) 営業利益のIFRS調整413百万円には、のれん償却費の戻入、未払有給休暇に係る費用計上等が含まれています。セグメント資産のIFRS調整8,054百万円には、使用権資産の計上、のれん償却費の戻入等が含まれています。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
（訂正前）

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他	調整額 (注2～4)	IFRS調整 (注5)	連結 財務諸表 計上額
	セールス アウト ソーシング 事業	コール センター アウト ソーシング 事業	ファク トリー アウト ソーシング 事業	介護 ビジネス 支援事業	海外HR 事業	スタート アップ 人材支援 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	23,149	16,459	23,745	11,142	36,131	1,262	111,890	10,172	—	△146	121,916
セグメント間 の内部売上高 (注1)	—	9	1	—	—	—	10	24	△35	—	—
計	23,149	16,468	23,746	11,142	36,131	1,262	111,901	10,196	△35	△146	121,916
営業利益	1,790	994	1,349	349	964	308	5,757	△87	△1,859	334	4,145
その他の項目											
減価償却費及 び償却費	41	12	23	21	524	6	629	183	175	1,001	1,990
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資本的支出	31	26	11	18	120	7	216	30	268	—	515
セグメント資産	4,813	2,820	3,788	1,907	13,968	1,132	28,430	7,019	859	8,290	44,600

(注1) セグメント間の内部売上高は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) 営業利益の調整額△1,859百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,874百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

(注3) セグメント資産の調整額859百万円は、主に事業セグメントに帰属しない全社資産であり、当社保有の資産です。

(注4) 減価償却費及び償却費の調整額175百万円は、各事業セグメントに配分していない全社の減価償却費です。

(注5) 営業利益のIFRS調整334百万円には、のれん償却費の戻入、未払有給休暇に係る費用計上等が含まれています。セグメント資産のIFRS調整8,290百万円には、使用権資産の計上、のれん償却費の戻入等が含まれています。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他	調整額 (注2～4)	IFRS調整 (注5)	連結 財務諸表 計上額
	セールス アウト ソーシング 事業	コール センター アウト ソーシング 事業	ファク トリー アウト ソーシング 事業	介護 ビジネス 支援事業	海外HR 事業	スタート アップ 人材支援 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	23,149	16,459	23,745	11,142	36,131	1,262	111,890	10,172	—	△146	121,916
セグメント間 の内部売上高 (注1)	—	9	1	—	—	—	10	24	△35	—	—
計	23,149	16,468	23,746	11,142	36,131	1,262	111,901	10,196	△35	△146	121,916
営業利益	1,790	994	1,349	349	964	308	5,757	△87	△1,859	334	4,145
その他の項目											
減価償却費及 び償却費	41	12	23	21	524	6	629	183	175	1,001	1,990
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資本的支出	31	26	11	18	<u>2,589</u>	7	<u>2,685</u>	30	268	<u>7</u>	<u>2,991</u>
セグメント資産	4,813	2,820	3,788	1,907	13,968	1,132	28,430	<u>6,623</u>	<u>1,255</u>	8,290	44,600

(注1) セグメント間の内部売上高は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) 営業利益の調整額△1,859百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,874百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

(注3) セグメント資産の調整額1,255百万円は、主に事業セグメントに帰属しない全社資産であり、当社保有の資産です。

(注4) 減価償却費及び償却費の調整額175百万円は、各事業セグメントに配分していない全社の減価償却費です。

(注5) 営業利益のIFRS調整334百万円には、のれん償却費の戻入、未払有給休暇に係る費用計上等が含まれています。セグメント資産のIFRS調整8,290百万円には、使用権資産の計上、のれん償却費の戻入等が含まれています。

【添付資料 P 17】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記

(1 株当たり情報)

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
基本的1株当たり当期利益算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,539	2,380
親会社の普通株主に帰属しない当期利益	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,539	2,380
加重平均普通株式数(千株)	22,161	<u>22,232</u>
基本的1株当たり当期利益	69.46	107.07
希薄化後1株当たり当期利益算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,539	2,380
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,539	2,380
加重平均普通株式数(千株)	22,161	<u>22,232</u>
新株予約権による普通株式増加数(千株)	612	<u>504</u>
希薄化後の加重平均普通株式数(千株)	22,773	<u>22,737</u>
希薄化後1株当たり当期利益	67.59	<u>104.69</u>
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり当期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2018年2月 取締役会決議による 新株予約権 5,320個 普通株式 532,000株	2018年2月 取締役会決議による 新株予約権 5,040個 普通株式 504,000株

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
基本的1株当たり当期利益算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,539	2,380
親会社の普通株主に帰属しない当期利益	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,539	2,380
加重平均普通株式数(千株)	22,161	<u>22,230</u>
基本的1株当たり当期利益	69.46	107.07
希薄化後1株当たり当期利益算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,539	2,380
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益	1,539	2,380
加重平均普通株式数(千株)	22,161	<u>22,230</u>
新株予約権による普通株式増加数(千株)	612	<u>493</u>
希薄化後の加重平均普通株式数(千株)	22,773	<u>22,723</u>
希薄化後1株当たり当期利益	67.59	<u>104.75</u>
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり当期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2018年2月 取締役会決議による 新株予約権 5,320個 普通株式 532,000株	2018年2月 取締役会決議による 新株予約権 5,040個 普通株式 504,000株

【添付資料P18】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記

(重要な後発事象)

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注3～5)	IFRS調整 (注6)	連結 財務諸表 計上額
	国内WORK 事業	海外WORK 事業	計				
売上収益							
外部顧客への 売上高	84,438	36,074	120,513	1,549	—	△146	121,916
セグメント間 の内部売上高 (注2)	24	—	24	10	△35	—	—
計	84,463	36,074	120,538	1,559	△35	△146	121,916
営業利益	5,061	971	6,032	△352	△1,869	334	4,145
その他の項目							
減価償却費 及び償却費	229	524	753	59	175	1,001	1,990
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
資本的支出	120	114	235	11	268	—	515
セグメント資産	18,348	13,941	32,290	3,160	859	8,290	44,600

(注1) 国内WORK事業は、国内における販売、コールセンター、工場、介護施設等カテゴリーに特化した派遣・紹介、業務請負を行っています。海外WORK事業は、主にASEAN、オセアニア地域において、人材派遣・紹介を行っています。

(注2) セグメント間の内部売上高は、通常の市場価格に基づいています。

(注3) 営業利益の調整額△1,869百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,874百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

(注4) セグメント資産の調整額859百万円は、主に事業セグメントに帰属しない全社資産であり、当社保有の資産です。

(注5) 減価償却費及び償却費の調整額175百万円は、各事業セグメントに配分していない全社の減価償却費です。

(注6) 営業利益のIFRS調整334百万円には、のれん償却費の戻入、未払有給休暇に係る費用計上等が含まれています。セグメント資産のIFRS調整8,290百万円には、使用権資産の計上、のれん償却費の戻入等が含まれています。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注3～5)	IFRS調整 (注6)	連結 財務諸表 計上額
	国内WORK 事業	海外WORK 事業	計				
売上収益							
外部顧客への 売上高	84,438	36,074	120,513	1,549	—	△146	121,916
セグメント間 の内部売上高 (注2)	24	—	24	10	△35	—	—
計	84,463	36,074	120,538	1,559	△35	△146	121,916
営業利益	5,061	971	6,032	△352	△1,869	334	4,145
その他の項目							
減価償却費 及び償却費	229	524	753	59	175	1,001	1,990
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
資本的支出	120	2,583	2,703	11	268	7	2,991
セグメント資産	18,348	13,941	32,290	2,764	1,255	8,290	44,600

(注1) 国内WORK事業は、国内における販売、コールセンター、工場、介護施設等カテゴリーに特化した派遣・紹介、業務請負を行っています。海外WORK事業は、主にASEAN、オセアニア地域において、人材派遣・紹介を行っています。

(注2) セグメント間の内部売上高は、通常の市場価格に基づいています。

(注3) 営業利益の調整額△1,869百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,874百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

(注4) セグメント資産の調整額1,255百万円は、主に事業セグメントに帰属しない全社資産であり、当社保有の資産です。

(注5) 減価償却費及び償却費の調整額175百万円は、各事業セグメントに配分していない全社の減価償却費です。

(注6) 営業利益のIFRS調整334百万円には、のれん償却費の戻入、未払有給休暇に係る費用計上等が含まれています。セグメント資産のIFRS調整8,290百万円には、使用権資産の計上、のれん償却費の戻入等が含まれています。

以上